平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社ダイセル　　上場取引所　東
コード番号 4202　URL http://www.daicel.com
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 札場 操
問合せ先責任者　(役職名) IR広報グループリーダー　(氏名) 畑 理史　TEL 03-6711-8121

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	303,230	14.1	28,262	42.2	31,802	48.3	19,007	61.5
25年3月期第3四半期	265,699	4.1	19,881	15.6	21,444	20.0	11,772	18.1

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　37,111百万円　(129.4%)　25年3月期第3四半期　16,174百万円　(247.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	54.06	―
25年3月期第3四半期	33.47	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	508,877	294,214	52.7	763.92
25年3月期	461,512	262,899	52.2	685.11

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　268,410百万円　25年3月期　240,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	5.00	―	7.00	12.00
26年3月期	―	6.00	―		
26年3月期(予想)				9.00	15.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	407,000	13.5	36,000	37.4	38,000	33.0	21,000	36.6	59.71

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
②①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	364,942,682 株	25年3月期	364,942,682 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	13,583,632 株	25年3月期	13,226,066 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	351,619,240 株	25年3月期3Q	351,735,015 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は現時点で入手された情報に基づき判断したものであり、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありうることをご承知おきください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（セグメント情報等） …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間のわが国経済は、円高の緩和を背景とした輸出環境改善など、景気の持ち直しの動きがみられました。しかし、依然として実需の回復に力強さはなく、景気の下振れリスクや原燃料価格の高騰など、引き続き予断を許さない状況のうちに推移いたしました。

このような環境の中、当第３四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、3,032億30百万円（前年同期比14.1%増）となりました。利益面では、営業利益は282億62百万円（前年同期比42.2%増）、経常利益は318億２百万円（前年同期比48.3%増）、四半期純利益は190億７百万円（前年同期比61.5%増）となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

［セルロース事業部門］

酢酸セルロースは、液晶表示向けフィルム用途は減少しましたが、たばこフィルター用途が増加し、売上高は増加いたしました。

たばこフィルター用トウは、網干工場の２年に１度の定期修繕などによる減産がありましたが、７月から大竹工場と網干工場での増産が寄与したことや、海外向け販売が好調に推移したこと、販売価格是正、為替の影響により、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、679億70百万円（前年同期比23.7%増）、営業利益は、販売価格の是正や為替の影響などにより、135億98百万円（前年同期比41.5%増）となりました。

［有機合成事業部門］

主力製品の酢酸は、網干工場の２年に１度の定期修繕を実施したことや、高純度テレフタル酸（ＰＴＡ）向けの需要減少などにより販売数量が減少しましたが、販売価格の是正や為替の影響により、売上高は増加いたしました。

酢酸誘導体及び各種溶剤類などの汎用品は、塗料用途などの販売数量が減少しましたが、液晶パネル向けなど電子材料分野への販売数量が増加したことや為替の影響により、売上高は増加いたしました。

カプロラクトン誘導体やエポキシ化合物などの機能品は、電子材料向けの販売数量増加や為替の影響により、売上高は増加いたしました。

光学異性体分離カラムなどのキラル分取事業は、中国やインド向けのカラム販売が好調に推移したことや為替の影響により、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、586億34百万円（前年同期比11.4%増）、営業利益は、為替の影響などにより、43億85百万円（前年同期比35.6%増）となりました。

［合成樹脂事業部門］

ポリアセタール樹脂、ＰＢＴ樹脂、液晶ポリマーなどのエンジニアリングプラスチックは、12月を決算期としているポリプラスチックス株式会社グループが事業を行っております。当第３四半期にあたる平成25年１～９月においては、主に上半期の自動車生産台数減少や、電子デバイス製品の販売低調の影響を受け販売数量は減少しましたが、為替の影響により、売上高は増加いたしました。

ＡＢＳ樹脂、エンプラアロイ樹脂を中心とした樹脂コンパウンド事業は、自動車部品向けなどが堅調に推移し、売上高は増加いたしました。

シート、成形容器、フィルムなどの樹脂加工事業は、主に原燃料高に伴う販売価格是正を実施したことにより、売上高は増加いたしました。

当部門の売上高は、1,139億５百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益は、販売数量の減少などにより、92億66百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

［火工品事業部門］

自動車エアバッグ用インフレータ（ガス発生器）及びシートベルト・プリテンショナー用ガス発生器（ＰＧＧ）は、北米自動車市場の拡大基調の継続や中国での日本車販売の回復、為替の影響により、売上高は増加いたしました。

発射薬、ミサイル構成部品、航空機搭乗員緊急脱出装置関連製品などの特機事業は、一部製品の防衛省による調達数量減少により、売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、583億57百万円（前年同期比22.7%増）、営業利益は、販売数量の増加や為替の影響などにより、74億37百万円（前年同期比138.3%増）となりました。

［その他部門］

水処理用分離膜モジュールなどのメンブレン事業は、医療分野向けや下水道分野向けが堅調に推移し、売上高は増加いたしました。

運輸倉庫業など、その他の事業の売上高は減少いたしました。

当部門の売上高は、43億63百万円（前年同期比1.4％増）、営業利益は、15百万円（前年同期比96.6％減）となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債および純資産の状況

総資産は、たな卸資産、有形固定資産、投資有価証券の増加などにより前連結会計年度末に比し473億65百万円増加し5,088億77百万円となりました。

負債は、短期借入金の減少などがありましたが社債の増加などにより前連結会計年度末に比し160億49百万円増加し、2,146億62百万円となりました。

また純資産は、2,942億14百万円となりました。純資産から少数株主持分を引いた自己資本は、2,684億10百万円となり自己資本比率は52.7%となりました。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	47,005	52,522
受取手形及び売掛金	76,970	83,288
有価証券	7,741	12,257
たな卸資産	82,977	91,780
その他	17,696	18,125
貸倒引当金	△190	△106
流動資産合計	232,200	257,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,874	47,686
機械装置及び運搬具（純額）	53,663	57,135
土地	26,707	26,823
建設仮勘定	20,545	21,484
その他（純額）	2,532	2,721
有形固定資産合計	149,323	155,852
無形固定資産		
のれん	5,410	5,454
その他	8,195	8,543
無形固定資産合計	13,605	13,997
投資その他の資産		
投資有価証券	49,059	64,580
その他	17,524	16,798
貸倒引当金	△201	△218
投資その他の資産合計	66,382	81,159
固定資産合計	229,312	251,009
資産合計	461,512	508,877
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,896	57,639
1年内償還予定の社債	－	10,000
短期借入金	19,118	14,492
1年内返済予定の長期借入金	13,211	10,278
未払法人税等	5,842	3,150
修繕引当金	3,006	959
その他	22,150	19,467
流動負債合計	113,226	115,987
固定負債		
社債	20,000	30,000
長期借入金	46,768	43,844
退職給付引当金	11,834	12,747
役員退職慰労引当金	74	87
修繕引当金	70	678
資産除去債務	1,049	1,077
その他	5,589	10,240
固定負債合計	85,386	98,675
負債合計	198,613	214,662

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,275	36,275
資本剰余金	31,579	31,579
利益剰余金	164,927	179,363
自己株式	△6,025	△6,343
株主資本合計	226,757	240,874
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,001	22,967
繰延ヘッジ損益	△185	23
為替換算調整勘定	△609	4,543
その他の包括利益累計額合計	14,207	27,535
少数株主持分	21,935	25,804
純資産合計	262,899	294,214
負債純資産合計	461,512	508,877

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	265,699	303,230
売上原価	205,637	230,687
売上総利益	60,061	72,543
販売費及び一般管理費	40,180	44,281
営業利益	19,881	28,262
営業外収益		
受取利息	302	318
受取配当金	963	1,053
持分法による投資利益	870	499
為替差益	－	2,010
その他	1,079	1,066
営業外収益合計	3,215	4,947
営業外費用		
支払利息	978	836
為替差損	68	－
その他	606	570
営業外費用合計	1,653	1,407
経常利益	21,444	31,802
特別利益		
固定資産処分益	163	287
投資有価証券売却益	－	1,923
特別利益合計	163	2,210
特別損失		
固定資産除却損	495	648
投資有価証券評価損	70	－
厚生年金基金脱退損失	566	－
特別損失合計	1,132	648
税金等調整前四半期純利益	20,475	33,363
法人税、住民税及び事業税	6,846	8,303
法人税等調整額	△472	3,306
法人税等合計	6,373	11,610
少数株主損益調整前四半期純利益	14,101	21,753
少数株主利益	2,328	2,745
四半期純利益	11,772	19,007

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	14,101	21,753
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△344	8,040
繰延ヘッジ損益	26	341
為替換算調整勘定	2,379	6,242
持分法適用会社に対する持分相当額	11	733
その他の包括利益合計	2,072	15,357
四半期包括利益	16,174	37,111
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,522	32,335
少数株主に係る四半期包括利益	2,651	4,775

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	セルロース事業	有機合成事業	合成樹脂事業	火工品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	54,945	52,616	106,287	47,546	261,397	4,302	265,699	－	265,699
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,775	10,800	5	－	12,581	7,378	19,960	△19,960	－
計	56,721	63,417	106,293	47,546	273,978	11,681	285,660	△19,960	265,699
セグメント利益	9,609	3,233	9,875	3,121	25,840	437	26,278	△6,396	19,881

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△6,396百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	セルロース事業	有機合成事業	合成樹脂事業	火工品事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	67,970	58,634	113,905	58,357	298,867	4,363	303,230	－	303,230
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,941	12,709	2	－	14,653	7,113	21,767	△21,767	－
計	69,912	71,344	113,907	58,357	313,521	11,476	324,997	△21,767	303,230
セグメント利益	13,598	4,385	9,266	7,437	34,687	15	34,703	△6,441	28,262

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メンブレン事業及び運輸倉庫業等を含んでおります。

２．セグメント利益の調整額△6,441百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社における基礎研究及び管理部門等に係る費用であります。

３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。